



# のびのび若っ子

ハーモニー

校長 中島 早苗

「これからリモート音楽朝会を始めます。今年第1回目の音楽朝会で発表してくれるのは、若葉台小学校の5年生、6年生です。5年生、6年生は集まらずに、でも心は一つにボディパーカッションの演奏をすることができました。」

8月24日のことです。放送から流れる音楽の田畑先生の一言で、今年度初めての音楽朝会がスタートしました。会場は各教室です。続いてテレビは、5画面に分割され、高学年の5クラスのボディパーカッションの様子が映しだされました。“We Will Rock You”、クイーンの曲に合わせて、各クラスごとに楽しんで演奏しています。音が一つになるように、リズムよく合わせられるように工夫している様子もよく伝わってきます。私は、低学年の教室にいましたが、食い入るように画面を見る子、音楽に合わせて自然にリズムをとる子など様々な反応でした。続いて、「しあわせなら手をたたこう」を演奏しました。高学年の様子を見て自分達もやりたくなったのでしょうか。楽しんで体をつかって、自分の音を鳴らしています。一つの音と一つの音が重なり、教室の音が他教室の音と重なり、校舎中が全校で一つになった音でいっぱいになりました。

高学年の5クラスの演奏は、6月の音楽の時間に取り組み、撮影されたものです。何かと制限のある音楽の授業で、こんな時だからこそ、音楽の楽しさを味わってほしい、合わせる喜びを感じてほしい、人とのつながりを感じてほしいという先生の強い思いから始まりました。各学級で撮影したものを合わせて一つの作品に編集する作業、テレビ放送に向けた準備等、多くの教員の力が結集してのリモート音楽朝会の実現となりました。

聴く楽しさ、演奏する楽しさ、個々の楽しさ、人とともに創りあげる楽しさ、音楽には様々な楽しさや喜びがあります。今回の音楽朝会は、全校で音楽の楽しさを味わい、他の学年の活動に興味をもちお互いのよさを認め合うことに加え、「一体感を味わう」こともねらいとしています。集まって生の音を聴き、会場に流れる雰囲気をもとに感じ、楽しむことは言葉を超える素晴らしさがあります。現在体育館で多くの人が集まることができない中で、人とのつながりを感じてほしいと願う取組は、制限された条件の中でも何とか工夫してよりよい教育活動をめざす本校の教職員に共通するものです。一方で、今後は感染拡大防止の対策を行いながら、その時々的情勢を見て可能な活動は少しずつでも再開していきます。

残暑が厳しい時期です。熱中症対策のために、児童登校前の早朝から全教室の冷房を一括稼働したり、暑さ指数を定期的に計測したりする等の対策も行っています。ご家庭におかれましても、引き続き健康観察等のご協力をよろしくお願ひします。

若葉台小学校学校教育目標

『自他共に大切に作る心を育みます』『意欲的な学びの芽を育みます』